

令和3年12月9日

感染症対策としてのワクチン接種の政策評価の請願

盛岡市議会議長 様

請願者

新型コロナを学ぶ会 代表

住 所：盛岡市

連絡先：

氏 名：安部茂樹



紹介議員氏名

豊村徹也

請願第 11 号



感染症対策としてのワクチン接種の政策評価の請願

【請願趣旨】

盛岡市は、現在、変異を続ける新型コロナウイルスに対する予防策として、変異以前に開発された特例承認ワクチン（現在接種されている mRNA ワクチン全て。以下、ワクチンと表記）を、ワクチン接種開始以前より重症化リスクおよび死亡リスクが著しく低い属性群（60代以下の健常者）および妊婦に対して、一律に接種を推奨している。

反面、当該ワクチンに関して、2021年2月19日、日本弁護士連合会は「新型コロナワクチン接種に関する提言書」中において、人体への薬害リスクに強い懸念を示している。

上記懸念を裏付けるように、2021年12月3日、厚労省の発表では、ワクチン接種後の死亡者は1,387名、重篤者は5,931名が報告されている（2021年12月8日現在、新型コロナ陽性者のうち死亡者は18,356名、重症者は27名。ただし、死亡者数は2年弱の累計）。

加えて、心筋炎の発症者数報告は、ワクチン接種が開始された2021年、激増している。

なお、河北新報（2021年12月8日付）はワクチン接種後の体調増悪（死亡含む）で、宮城県で、予防接種健康被害救済制度に対し30件を超える申請がある事実を報じている。

一方で、岩手県の副反応の実態の詳細（世代別、性別、症状別の発症リスク）について、ワクチン接種希望者に事前かつ十分に知らされることなく、接種は継続されている。

以上を踏まえ、盛岡市の感染症対策として、ワクチン接種開始前より重症者および死亡者が皆無な60代以下の健常者に対して、ワクチン接種が現時点で必要緊急なのか。また、現在、国内外でワクチン接種後の有害事象との因果関係を否定できない当該ワクチン接種の緊急性および必要性、妥当性を検証してなお、財政的支援、人的負担を講じてまで実施する状況にあるのか。盛岡市民の将来にわたる健康上の安全・安心を守る保健行政の観点から、過去および今後の政策評価を行うことを必要かつ緊急の対策として、強く求めます。

【請願事項】

盛岡市民を対象としたワクチン接種後の体調増悪（特に心筋炎）の調査および公表

盛岡市民を対象としたワクチン接種後の死亡および重症化した市民のうち予防接種健康被害救済制度の利用状況の調査および周知徹底

盛岡市民を対象としたワクチン接種者とワクチン非接種者の有意差の調査および公表